

# 時代は自家消費。

環境貢献が企業の評価に繋がるいま。  
「自家消費型太陽光発電システム」導入を提案・サポートいたします。



※屋根置き型太陽光発電設備のイメージです

約30年の実績を誇るプロの技術で御社のカーボンニュートラル対策を実現します。

メリット

## 1 企業価値の向上

太陽光発電導入による環境配慮が企業価値の向上に繋がります。

### ●企業投資の新しい判断基準に

ESGとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、統治 (Governance) の三つを指します。近年、世界中で環境問題が取り沙汰されていることを踏まえ、企業投資への判断基準が変化しています。売上をはじめとする数値として表れる情報に加えて、このESGへ取り組み姿勢が新たな評価材料として重視されているのです。

### E 環境 Environment

再生可能エネルギーの利用  
環境汚染への対応  
水資源の有効活用  
生物多様性の保全

### S 社会 Social

サプライチェーンのリスク管理  
適切な労働環境の実現  
地域社会への貢献  
女性活躍の推進

### G 統治 Governance

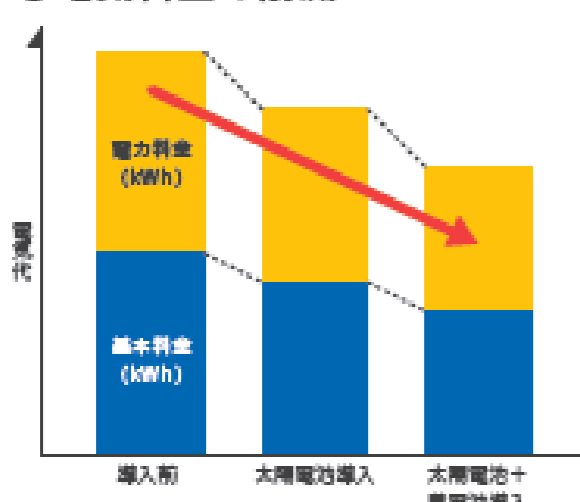
積極的な情報開示  
株主権利の確保  
取引の透明性  
汚職防止

メリット

## 2 エネルギーコストカット

電気料金の削減や太陽電池モジュールによる遮熱効果も期待できます。

### ●電気料金の削減

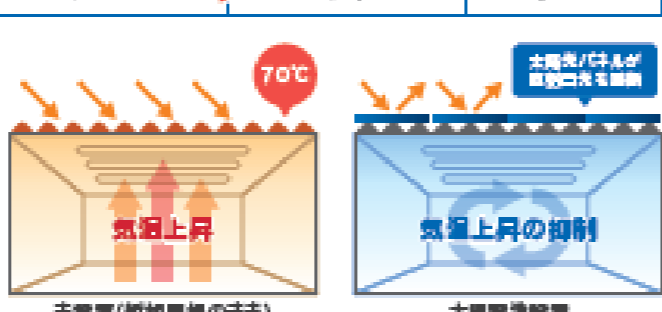


### ●遮熱効果で空調費も削減

季節	屋根表面温度	貯蔵庫裏面(天井面)温度実測値		温度差
		太陽電池未設置	太陽電池設置	
夏場	70.0℃	49.3℃	38.4℃	-10.9℃
冬場	-5.0℃	8.1℃	13.4℃	5.2℃

※一般財団法人新エネルギー財団 (NEF) より  
【新エネルギー総合研究所調べ】

屋根に太陽電池を設置することで  
二重屋根効果が得られ、  
夏は涼しく冬は暖かい



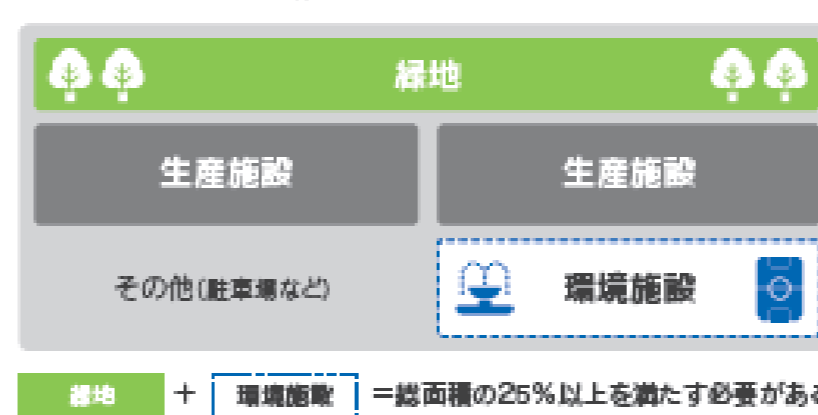
メリット

## 3 生産施設の拡大

工場立地法<sup>※1</sup>では、太陽光発電施設は環境施設<sup>※2</sup>に含まれ、生産施設の拡大に繋がります。

### ●工場立地法とは

対象工場: 総面積が1,000㎡以上かつ総床面積が3,000㎡以上  
規模の大きい工場施設利用において「生産施設・緑地・環境施設」の面積率が定められた法律を指します。



### ●太陽光発電施設は環境施設に含まれる

緑地 20%以上 + 環境施設 5%以上 = 工場総面積の 25%以上

工場立地法では太陽光発電施設は環境施設に含まれる。そのため土地の有効活用、そして生産施設の拡大に繋がります。

※1) 工場敷地面積比率の上限が定められ、敷地に占める敷地面積を20%以上かつ緑地を求め、敷地や敷地面積などの環境施設を25%以上確保する。  
※2) 緑地・水資源・水質改善施設、公害防止施設、一級河川改修施設、公園施設など。

メリット

## 4 BCP(事業継続)・災害対策

停電時に非常用電源として電力を確保しておくことが可能です。

### ●停電時の電源供給のイメージ

近年多発する甚大な自然災害により、事業継続に欠かせない電力供給が途絶するケースが発生しています。太陽光発電に加えて、蓄電システムを導入することにより、災害に対する対応力・復旧力を高めることが可能です。

